日本勤労者山岳連盟・静岡県勤労者山岳連盟

裾野麗峰山の会 (sine１９９４)

第２２期・８巻　２０１７年２月号　ＮＯ．１９０

仲間と仲間を結ぶ機関誌

すーほう

Susono Reihou Alpine Club

山行ＮＯ．１７２２
０１月２８日（土）石割山・大平山

もくじ

表紙
山々のブログ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・2p
経過報告　全国連盟・県連盟・東部ブロック会議・・・・・・・・・・・3p
会山行報告・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・4p
個人山行報告
今後の予定

「山々のブログ」　Ｎｏ．１６６

後藤隆徳

理事長の行方

静岡県勤労者山岳連盟の上部団体は、日本勤労者山岳連盟で、北は北海道、南は沖縄まで、仲間の山岳会が点在している。

静岡県勤労者山岳連盟は、西は浜松勤労者山岳会、東は伊豆ハイキングクラブまで、１８団体、約６００名が在籍し、日々、奮闘している。

県連盟は、各会が輩出する理事によって、理事会が構成され、会長、理事長、副理事長（東・中・西部ブロック長）、事務局長、会計、他の役員で構成される。

会長・理事長は、年一回の総会時、選挙で承認される。連盟は、ここ３期会長が不在で理事長が兼務している。更に理事長は７期務めている。今年に入り、来期４月以降、理事長を東部ブロックで選出したらどうかの打診があった。

先般、東部ブロック会議があり、選出作業を行ったが、結局、結論がハッキリ出ないまま終了した。何故、決められなかったか、原因は種々あるが、現在の東部ブロックに決して人材がいない訳ではない。

候補者は数名上がっていた。しかし、個人的能力はあっても、「会の高齢化で自分は抜けられない」「地域の仕事が多く時間がない」「自分が出て行くと、替わりの人材がいない」「近々に新しい仕事を開始する」等々、言い訳的理由が多かった。

実はかつて私も３期、理事長を務めたことがある。４０周年記念行事を纏め、海外登山集会を御殿場「時の栖」で開催した。３年間は充実した楽しいものだった。それは確かに、重責で多忙である。ただ、労山に長く在籍し世話になった。その恩に報いる気持ちもあった。余り長期では負担だろうが、３期くらいなら誰でも出来る。

要は、「心意気」の問題である。また、今回の理事長交代は、急に決まった訳ではない。会長・理事長は基本、各ブロック持ち回りである。

長く組織に在籍すれば、当然役割は回って来る。目された者は、「そのつもりになる」心構えを持つべきだ。

組織は、皆で支え継承して行くもの。労山で登山を楽しめる事は誰かが奮闘している。

皆がそんな気持ちを持てば、未来永劫。我が会は我が会では県連の未来はない。

２月度・例会報告　　０２月０５日（日）生協会議室１５：３０～１６：３０

出席者＝後藤・ＫＹ・ＫＫ・ＭＴ・ＭＭ・
ＩＴ・ＨＡ＝７名

イ．第６回・東部ブロック会議報告

第６回　１２月１９日（月）　ちょっ蔵　　７団体出席

議題＝県連交流ハイク。５０周年記念レセプションの反省。来期ブロック長と会計担当の確認。来期東部ブロックとしての計画と方向性。

２、ブロックの活動

① 事故０を目指す取り組みは、残念ながら実施されなかった。

・ 県連で起きた事故は転倒２件、全て東ブロでした。

あさぎり　＝１件　６月２７日　岩手山　転倒時に左手裂傷

駿東山の会＝１件　８月　５日　白馬岳　転倒時に右肩骨折

② ロック交流山行

日程は９月１０日～１１日とし、山域は富士川流域と定め、各会の役割分担も決めたが、参加者が少なく残念ながら中止とした。今後交流山行のあり方などを検討する。

③平和行進への参加　　５／19（木）～31（火）

５月１９日（木）　三島労山１名、伊豆Ｈ１名

５月２０日（金）　伊豆Ｈ１１名、三島労山１名、沼津労山１名

５月２１日（土）　沼津労山１名

５月２２日（日）　あさぎり山の会

④５０周年記念行事

東ブロ担当の記念誌編纂に積極的に取り組み完成させた。

記念レセプション（清水テルサ）参加者＝東ブロ＝３５名

⑤県連交流ハイク

２０１７年１月１５日（日）大平山（蒲原）

全体で１１９名の参加者。頂上での交流会は豚汁提供とフォークダンス。

今年はテーマを決めた。「2017 年は労山でエンジョイ！」

３、その他

① １０／１６（火）　山の日制定記念日として県下４団体でふるさとの山記念登山。

東ブロ担当＝富士山宝永山（サポーターあさぎり山の会（２名）参加者１３名。

② ６月２５日～２６日

第３２期　全国女性担当者会議に三島労山の山口美恵子さんが出席。

③ １１月１３日

東海ブロック雪崩講習会（愛知県）机上＝あさぎり山の会５名参加

１月２１日～２２日（おんたけ休暇村）実技＝あさぎり山の会４名参加

④ 愛鷹連峰　ブナ定点観測（2000 年から実施）＝裾野麗峰、あさぎり山の会

⑤ 来期のブロック長・・・伊豆ハイク、会計・・・三島労山

ロ．東部ブロック活動方針（案）

１、　ブロック交流会の交流を図る。

① 全体会員を対象に参加しやすい交流山行を計画、実施に繋げる。

② 冬季ブロック交流登山も呼びかけをして計画、実施に繋げる。

２、　技術訓練を連盟に依頼し、県連として講習会を開催することを提案する。

３、　県連理事会のあり方の改革を理事会に提案する。

４、　平和行進への参加。

ハ・０１月度・会山行実績

１．０１月１５日（日）２０１７・県連交流ハイキング＝大丸山・大平山・・・６名（１０５名）

２．０１月２８日（土）大平山～石割山～日向峰・南尾根・・・６名

二・０１月・個人山行実績

１．０１月０５日（木）　金時山・・・沖

２．０１月０６月（金）　八ッ・横岳杣添尾根・・・後藤、ほか

３．０１月１８日（水）　池ノ平山～位牌岳・・・沖、室伏

４．０１月２０日（金）　八ッ・蓼科山（森林限界まで）・・・後藤、ほか

５．０２月０４日（度）　御坂・黒岳北尾根～南尾根・・・後藤、勝又陽、峰田

ホ・１２月度・会山行報告

山行番　ＮＯ．１７２０　　文・写真　後藤

日　時　　２０１７．０１．１５（日）無風快晴高温

山　域　　蒲原・大丸山（５６８ｍ）・大平山（５６９ｍ）

参加者　　後藤・勝又陽・室伏・勝又薫・峰田・長谷＝６名（県連全体＝１０６名）

コース　　蒲原駅発７：５５―霊光院８：１２―大丸山９：４２―大平山１０：１０～１３：００―新蒲原駅１４：３４―富士駅前「角山」反省会

蒲原駅より登山開始。天気はサイコーで無風。かなり寒かったが、上り出せば、すぐ暖かくなる。途中で、安倍っ子数名を抜かす。

大丸山から大平山着。僅差であさぎりが先着。すぐ豚汁製作。お湯を持参し、下ごしらえをしてあるので直ぐ出来た。ショウガを入れたので、刺激的な匂いがプンプン。あさぎりが、ショウガを希望したので上げた。

１２：３０から交流会。今回は「フォークダンス」。だが、ステップがなかなか難しい。場所も斜めでおどり難い。酔っているので、なお難しい。

１３：３０終了。新蒲原駅に降りた。帰路、あさぎり・山楽歩と富士で新年会。楽しい一日でした。

久しぶりに、「トン汁」を作った。ただ今回、具は外注で運搬して温めるだけ。

ショウガをガッチリ入れたら、何と香りがイイことイイこと。隣のあさぎり山の会が、その刺激臭に魅せられ「欲しい」というので、分けてあげた。

「シイタケ」も美味しいが、ショウガは知りませんでした。味噌も市販品でなく、手作り味噌。舌の肥えてる方は、それが分かったようで、「一味（味噌）違った」と感心していた。
東部ブロック、６団体が腕を競い作りましたが、果たして一番美味しかったのは、何処だったでしょうか？？！！

正面は大丸山

富士山が大きい

美味しいトン汁

時々、グラが・・・

ブロック長、挨拶

ホークダンス？？！！

老いも若きも・・・

２０１７は、「労山でエンジョイ！！」

山行NO　　ＮＯ．１７２２　　文・長谷　　写真・後藤

日　時　　２０１７．１．２８（土）無風快晴高温

山　域　　石割山（１４１２ｍ）～日向峰・南尾根下降

コース　　三島駅北口６：１５－交流プラザ「きらら」７：３０－湖北－大平山ハイキングコース入口８：３０－大平山９:40－平尾山１０：２０－石割山１０：５０－１１：５０御正体山方面－１４：００道志みち－石割の湯－下土狩１７：００（反省会あり）

標高差　　上り＝湖北１０１８ｍ～石割山１４１２ｍ＝約４００ｍ（ただし長い）

　　下り＝　　〃

参加者　　後藤（L）、勝又、小島、峰田、長谷、加藤（２月入会）＝６名

リベンジしました

昨年、雨天および参加者少のため延期になっていた、石割山。

週半ばまで、寒波が来ており、前日は、強風であったが、今日は、快晴、無風、３月並みの気温。

「きらら」に駐車した時点では、太陽が、山の陰でまだ寒い。辺りには、結構雪が残っており、本日は雪まつりが開催されるようである。湖面をみると、見事な逆さ富士。カメラマンにまじり、写真を取る。

サイクリングロードを登山口まで歩く。湖面は氷が張っていた。

ずっと富士山が山中湖を超えた正面に見え、素晴らしい景色だ。ついつい写真も撮りたくなる。

１時間ほど歩き、大平山ハイキングコース入口へ。途端に道路にも雪が残っており歩きにくくなる。
林の手前で、スパッツを付け、上着をぬぐ。登山開始だ。
雪道と、凍った土と、ぬかるんだ土がかわるがわるあらわれ、しばらく行くと大平山が左に見えてくる。
最後は、階段になっているが、ほぼ雪に覆われ、登りやすい。
頂上は、絶景だ。まるで富士山を見るための山のようだ。

お見事！！！

大平山

記念写真を撮り、隣の山へ。
尾根だから楽だよ、の言葉は、すぐに撤回され、魔の階段が現れる。雪でそこそこ覆われた急な階段を一度下りまた登り返す。きつくて、きつくて、２回も滑ってしまい、下ばかりみていたら、やっと平尾山に到着。
ここもまた、頂上は、絶景だ。湖越しに見える富士山が美しい。
お腹もすいてきたが、目指すは、石割山。
やはり少し下りまた登り返す。階段ではないが、ほぼ雪道で、滑らないようにゆっくり登る。
初めから、軽アイゼンをつけたＳＫさんは、安定した登りである。

途中、下から見えた別荘地があり、登山道の直ぐ脇に除雪された道路が通っていた。
よろよろと登り続けると急に人の声が聞こえ、石割山に着いた。頂上には、たくさんの登山者がいた。
今日は、富士山の展望がいいですからね。しかし、殆どのグループが、私たちとは、逆の、富士山を見ながら歩くコースだ。やはり、富士山の眺望がいいと人気があるのだろう。
少し下った、鉄塔のところで、昼食にする。私は、マットがあったが、雪の上は、冷たいので、鉄塔の柱に座ったＳＫさんとＨＫさんは、低い柱に頭をぶつけました。大丈夫だったでしょうか？
ＨＫさんの差し入れのシシャモといわしをおいしく頂き、やや早めだが、下山することにする。

昼食

シシャモ焼

ザックザック上る

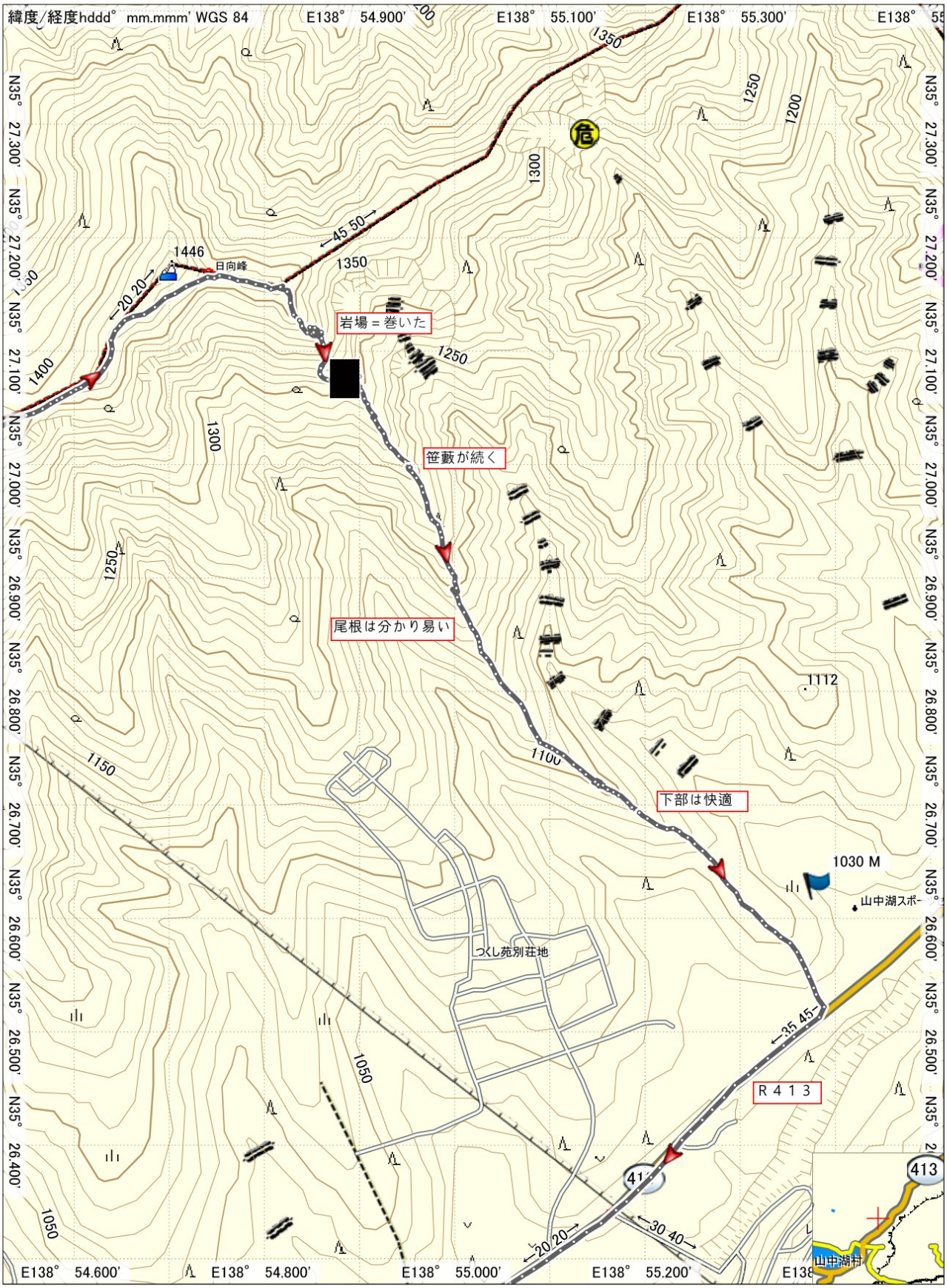
御正体山（みしょうたいさん）

日向峰・南尾根

ＧＬによりアイゼンを装着。今日は、冬山訓練ですからね。ＹＫさんは、１６ｋｇも担いできたそうです。
石割山入り口の道標に誘われ下りかけたが、もどり、御正体山方面へ下る。ＧＰＳのおかげ。
しばらく行くと左右の分かれ道。本来のルートは、左のようだが、右のほうが、近そうだ。
ここで、いつものとおりＧＬは、新しいルートを選ぶ。チャレンジャーですね。笹薮があるけど近いならと全員でそちらに向かう。本当に、笹の藪の中をずっと進む。岩をよけるため、ＧＬがザイルを用意してくれザイルにつかまり、雪崩をおこし、下のルートにたどり着いた。やれやれ。
その後、笹の藪の中まだまだ進む。そのうちやっぱり足が疲れてきて、左右のアイゼンが引っ掛かり転倒。
藪で、あたりが、見えないので、ＧＬが「物を落とさないように」と指示。
なぜか、その途端ＳＫさんのアイゼンが片方落ちているのを発見。すぐでよかった。ＧＬの勘は、すごい。
やっと道路に出た。ここから、道志みちの車道を延々歩く。３０分程黙々と歩くと石割の湯の看板が。
ここで、ＧＬが、「車取ってくるから、待っていていいよ」と寛大なお言葉。
その後３０分程かかかりようやくＧＬが車で到着。
３０分で温泉に入り、（流石８００円で、いいお湯でした。）帰路につきました。

大平山
撮影＝ＨＫ

お見事！！！

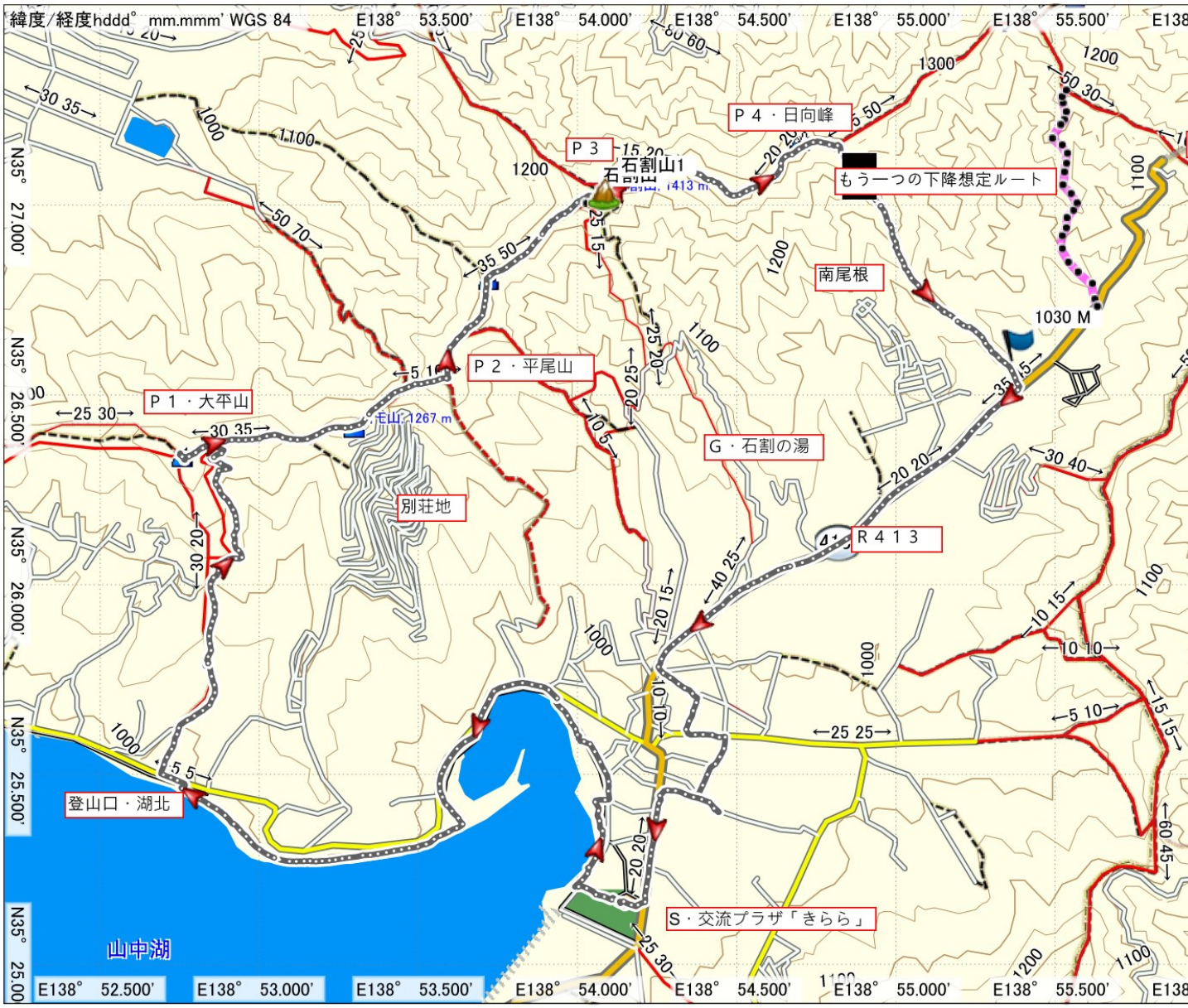


Japan Topo 10M Plus V3
CanvasMapple Co., Ltd 2014
Garmin Corporation 1995-2014

0 m 100 m 200 m 300 m 400 m

2017/01/29 6:29:55

GARMIN.



Japan Topo 10M Plus V3
CanvasMapple Co., Ltd 2014
Garmin Corporation 1995-2014

0 m

2017/01/29 6:29:55

へ・０１月度・個人山行報告書

山行NO　　ＮＯ．１７１９　　写真・文　後藤
日　時　　２０１７．０１．０６（金）無風・快晴・高温
山　域　　八ッ・横岳（２８２９ｍ）杣添尾根
コース　　下土狩５：００ー海ノ口登山口発７：５０ー森林限界１０：５２ー三叉峰（さんじゃほう）上１１：５０ー横岳１２：０９ー登山口１４：４６
参加者　　後藤・ほか

２０１７年・初登山でした

海の口駐車場は、昨年苦労したので今回は一発で分かった。駐車場には、「伊豆」ＮＯの車が１台。上部の足跡から、今日か一昨日の先行者のようだ。ただ、姿は確認出来なかった。
天気は無風快晴高温。道々、八ヶ岳は雪が少なく黒かった。今年は何処も少ない様だ。アイゼンなしで出発。気温が高く、ヤッケの上下・ジャンパーを脱いだ。それでも暑かった。道は次第に氷道になり、標高２０００付近でアイゼンを装着。
後ろから男性が一人来た。聞けば、年齢は６６歳。房総と八ッ・大泉に別荘があり、今日は大泉から来たという。昔、緑山岳会に在籍し登攀三昧だったらしい。しかし、ある時、上から登攀者が落ち、巻き添えになり膝を骨折し、山は止めたという。再開は２～３年前だそうだ。古い登山家をよく知っていた。有名な森田勝も知っていた。
結局、この日の杣添尾根は３名だった。別荘氏は、速いので先に行って貰った。森林限界に出た。相変わらずここからの赤岳は見事。富士山も大きい。３月に比べると、やはり雪が少なく、ブッシュが多かった。縫うように進む。

赤岳

　小ピークを越えたところで、ストックからピッケルに変えた。三叉峰の上りに掛かった。雪が少なく、ガジガジの氷で上り難い。昨年の３月は、雪が多く楽だった。三叉峰を越えて縦走路に出た。稜線は風が無かった。年末の仙丈の風が嘘の様だった。

　　降りたところで、空腹を満たす。鉄製の梯子を二つ上れば、横岳頂上。まあまあの時間。別荘氏が休んでいた。頼まなかったが写真を撮ってくれた。サービスが良かった。

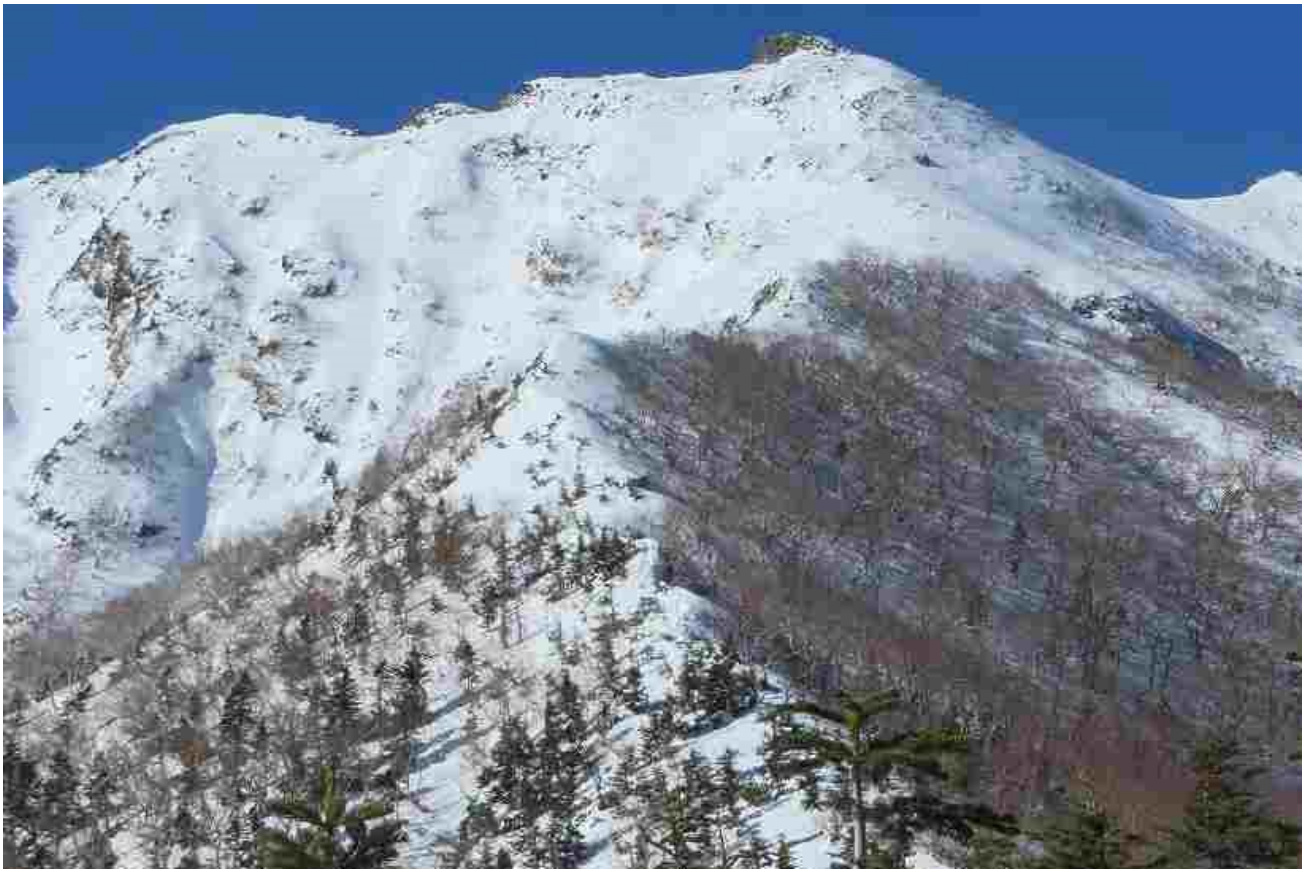
時間は早くないのですぐ下山。三叉峰下りは、イヤらしいが前向きで下れた。初心者はザイルが欲しいだろう。ここを降りれば、後はブラブラ下るだけ。振り返ると、別荘氏が三叉峰を下っていた。

　ただ、後ろ向きだった。しかも、左手にストック・右手にピッケルだった。ストックは、邪魔で役に立たない。ピッケル一本にすべきだ。また、後ろ向きは視界が悪く、下り難いものだ。ヒヤヒヤで目を背けてしまった。

杣添尾根上部

横岳頂上

尾根途中の寒暖計



杣添尾根全景

途中のシラビソの寒暖計はマイナス６度だった。歩きにくい氷道を下り駐車場着。
２０１７初登山、イイ山だった。別荘氏がなかなか下山しないで、ちょっと心配でした。

山行NO　　**ＮＯ．１７２３**　　**文・写真　後藤**

日　時　　２０１７．０２．０４（土）無風快晴
山　域　　御坂・黒岳北尾根～南尾根
コース　　下土狩６：００－河口湖美術館駐車場７：０５－河口郵便局・富士急バス７：３０（新田まで５６０－）－新田発８：１０－黒岳１１：１０－展望台（昼食）１１：１５～５０－河口湖・長崎１４：１５－河口湖美術館
標高差　　上り　新田約７９０ｍ～黒岳約１７９３ｍ＝約１００３ｍ
　　下り　黒岳約１７９３ｍ～長崎約約８３５ｍ＝９５８ｍ
藪漕度　　５段階レベル＝１（藪は少しあるが、ほとんど五月蠅くない）
参加者　　後藤・勝又陽・峰田＝３名

御坂越え（時には路線バスを楽しむ）

当初、八ヶ岳予定だったが、雪が少なく面白くない。以前から気になっていた御坂・黒岳北尾根～南尾根に向かう。
河口郵便局７：３０のバスに間に合うため飛ばす。７：１０、車は河口湖美術館駐車場に置いた。

ここから河口郵便局に歩く。河口郵便局北に浅間神社の立派な駐車場があり、結果的にはここが良かった。綺麗なトイレもある。

浅間神社駐車場

バスはピッタリ７：３０に来た。乗客は学生さんが２名のみ。バスは快適だった。運転手が気を使って、三ッ峠登山口で停まってくれた。御坂トンネルを潜り新田で下車。ここまで約３０分。料金は、５６０ーだった。
県営林道・蕪入沢上芦川線を上る。この林道は、釈迦ヶ岳と黒岳のコル（日向坂峠から芦川に抜けている）

登山開始地点

右下の唐沢川に架かる最初の橋手前で尾根に取り付く。岩混じりの急な尾根だった。ただ、藪は全くない。ひと上りで、先ほどの林道に出る。ノリ面左を辿り更に上る。雪は薄っすら乗っている程度。北面なのに本当に少ない。
この上部に１２７９．９の三角点があるが、分からなかった。この辺りは全く藪がなく、美しい楢の雑木林が続く。天気は無風快晴で、サイコーの気分だった。

イイ尾根が続く

三角点・大洞（１４３０．６ｍ）着。東の小尾根にトレースがあった。この先は唐松の植林地で、少し藪っぽかったが、煩いほどではない。背後に八ッ・南ＡＬＰＳが上がって来た。少し下り、標高約１３８０ｍのコルから、標高約１６５５ｍの日向坂峠からの一般道まで、標高差約３００ｍが、今日の上りで一番キツイ所だった。傾斜がやや落ちたころ、ようやく、峠からの道に合流。やっぱり、一般道は楽に出来ている。
ひと踏ん張りで、御坂峠からの一般道に出て、その先が頂上だった。改めて標高差１０００ｍは厳しかった。そして黒岳は、１８００ｍ近い高峰だった。

サクサク上る

黒岳頂上

見事・天晴！！！

記念写真を撮り、２００m先の展望台で昼食。先週の石割山の富士山も良かったが。ここは更に凄かった。しかも、他登山者はゼロ。明日は悪天候予報なので今日の上った方がイイと思うが・・・。１２時前腰を上げた。人数が少ないと昼食時間も短い。モーレツな急下降をこなす。途中、若いアベックがいた。この二人が今日会った唯一の登山者。道は、落ち葉の下が凍っていて、神経を使う。標高約１４００mで広瀬に降りる一般道と目的だった南尾根に分かれる。南尾根は一見してそれと分かる。ここも特に藪はない。しばらく穏やかに下り、烏帽子岩の岩稜帯に達するが、全く問題なかった。

烏帽子岩通過

感じがイイ尾根

念のためザイルで下る

烏帽子岩が困難だったら、どうしようかと思っていたが・・・。ピーク１１５６ｍの岩場下りでザイルを出した。しかし、よく観察したら、左に立派なフィックスがあった。これを辿ればザイルは不要だった。

三角点・馬乗石山

最後を下って長崎着

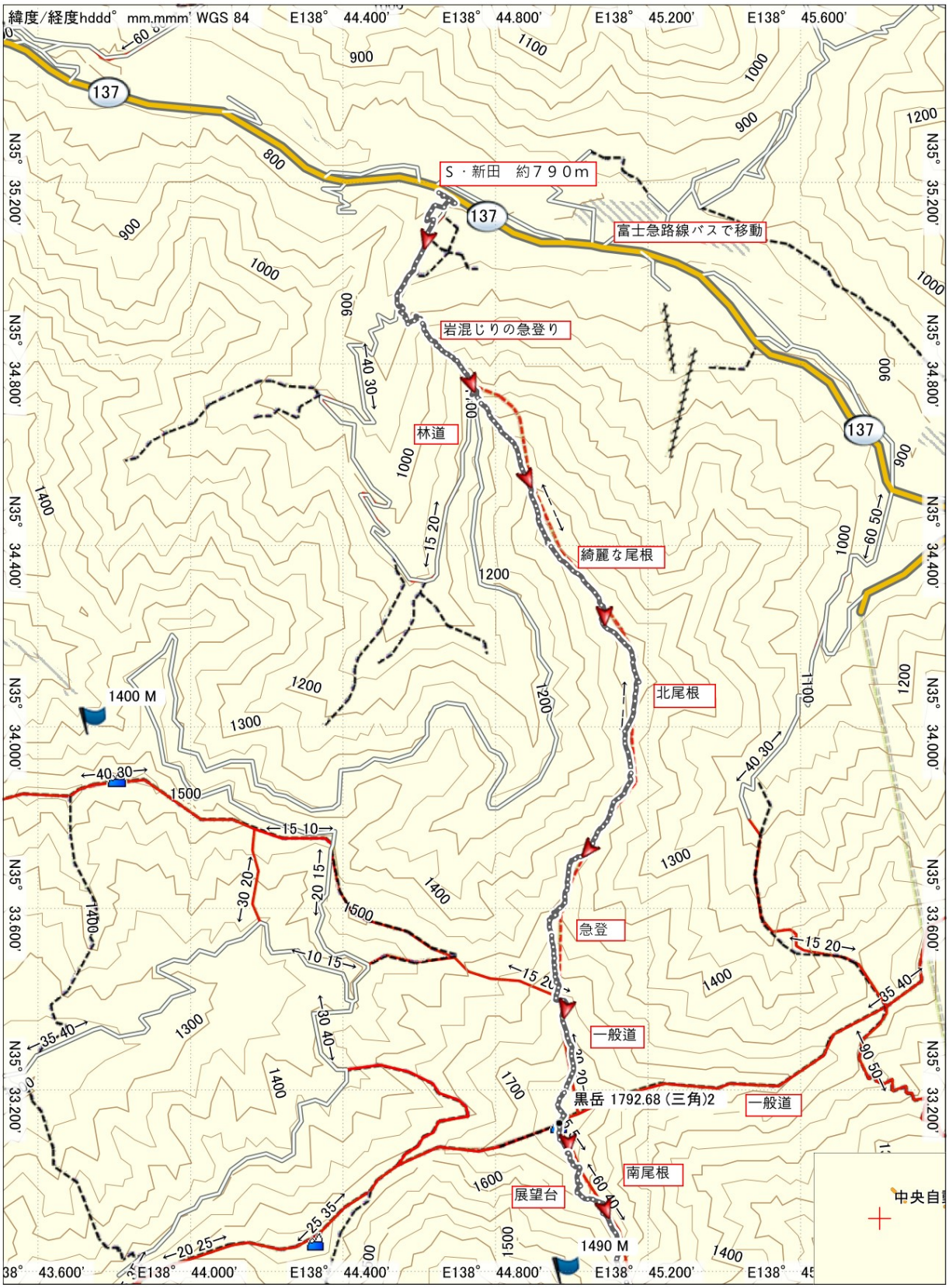
長崎から富士山

小さなピークを何個か越えて、グングン下る。最後のピーク、三角点・馬乗石山（９４２．５ｍ）を下ると別荘地に出た。ここに道路があったが、道路を下らず、あくまで南尾根を湖まで行く。最後の藪を処理し湖畔に立った。サイコーの尾根だった。

南尾根は上るより下った方がイイだろう。最後が河口湖はイイ気分である。美術館駐車場から、南尾根が大きかった。

河口湖は中国系の旅行客が多かった。自撮りの香港からの女の子の写真を撮って上げたら、喜ばれた。

了



Japan Topo 10M Plus V3
CanvasMapple Co., Ltd 2014
Garmin Corporation 1995-2014

0 m 250 m 500 m 750 m 1000 m

2017/02/05 6:59:48

GARMIN

Japan Topo 10M Plus V3
CanvasMapple Co., Ltd 2014
Garmin Corporation 1995-2014

0 m 250 m 500 m 750 m 1000 m

2017/02/05 6:59:48

GARMIN

ト・今後の予定

	年末	仙丈ヶ岳･小仙丈尾根（リベンジ山行）
	０７月３０日（日）～８月７日（月）	北海道・幌尻岳、ほか
	０５月連休	唐松岳～五竜岳（リベンジ山行）
	０４月２２日（土）	ハイクの日＝
	０４月１５日（土）～１８日（火）	山岳スキー＝火打山～笹倉温泉
	０４月０８日（土）	定例ハイク＝
	０４月０２日（日）	**４月度・例会**
	０３月３０（金）～４月１日（土）	山岳スキー＝守門岳・浅草岳
	０３月２４日（金）～２５日（土）	谷川岳・西黒尾根 （リベンジ山行）
	０３月１７日（金）～１８日（土）	登山とスキー＝山の神尾根
	０３月１２日（土）	
	０３月０５日（日）	**３月度例会**
	０３月１１日（土）	定例ハイク＝十枚山
	０３月０５日（日）	第５１回・県連総会
ＮＯ．１７２６	０３月３日（金）～４日（土）	登山とスキー＝乗鞍岳
ＮＯ．１７２５	０２月２５日（土）	ハイクの日＝
ＮＯ．１７２４	０２月１８日（土）	リベンジ山行＝大菩薩嶺
	０２月０５日（日）	**２月例会**

ホ・学習会・・・Ｐ１３～１７を学習した。

２月号　了